

# CY1L Series パッキン交換要領

## 1 保守について

ピストンパッキン、ウエアリングなどの交換で分解するときはつぎのことにご注意ください。

- ① シリンダチューブより外部移動子、またはピストン移動子を取外すときは強制的に外部移動子とピストン移動子の位置関係をずらし保持力をなくした状態で取出してください。そのまま取出しますと直接マグネットが吸引しあいはずれなくなる恐れがあります。
- ② 上記の作業後、各移動子がはなれた状態で六角穴付ボルト(プレートA側)をはずすことによりシリンダチューブ、およびガイドシャフトA、BよりプレートAを外してください。(交換作業(パッキンなど)では、その他の部分は分解しないでください。エア漏れなどの原因となります。)
- ③ マグネット構成部(ピストン移動子、外部移動子)は絶対分解しないでください。保持力の低下、不具合発生の原因となります。
- ④ ピストン移動子と外部移動子は方向性(φ6、φ10および保持力Lタイプ)があります。図1を参照してください。外部移動子(スライドブロック)とピストン移動子を吸引させて図1-(a)の位置関係になるようにシリンダチューブに挿入します。(b)のようになったときは、ピストンのみ180°反転して挿入します。

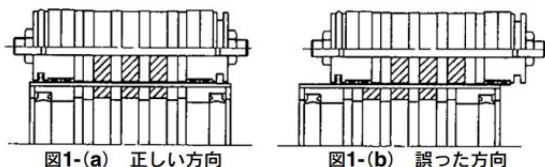


図1 移動子の方向性

- ⑤ マグネット構成部を取扱うときは、腕時計を外して作業してください。強い磁気にて故障する恐れがあります。
- ⑥ マグネットは床に落したり、金属につけるとこわれる恐れがありますので、マグネット構成部の取扱いには十分ご注意ください。

## 2 その他の使用上の注意事項

- ① 移動子内部には、鉄製部品が、使用されていますので水などがシリンダチューブに直接かからないようにしてください。
- ② スライドブロックの軸受部分およびシリンダチューブ外周面には、定期的にグリス塗布をしてください。
- ③ 取付け時には、接続配管を十分フランジして、シリンダ内部にゴミや切粉が入らないようにしてください。
- ④ シリンダチューブ、ガイドシャフト外周面に傷や打こんをつけないようにご注意ください。スクレーパ、ウエアリングおよびブッシュの損傷をまねき作動不良の原因となります。
- ⑤ シリンダ(シリンダチューブ、ガイドシャフト表面)に、水(温水)、クーラント液などがかかる雰囲気での使用は避けてください。